

令和2年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会議事録（要旨）

令和2年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会における委員の発言要旨等は次のとおりです。

1 日 時

令和3年2月3日（水）午後3時45分から4時30分まで

2 場 所

北秋田地域振興局3階大会議室

3 出席委員（敬称略）

津谷永光、遠藤勝實、児玉達彦、加賀谷保、池田智美、神谷彰、五代儀明美、高坂祐司、田中敬午、和田渉、中嶋洋子、齊藤幹雄、加藤淑子

以上13名出席（協議会定員15名中、同会委員13名出席）

4 会長選出

委員の互選により、津谷委員を会長に選出した。

5 会長職務代理者指名

会長の指名により、遠藤委員を会長職務代理者に指名した。

6 会長就任あいさつ

（要旨）

日頃、皆様には鷹巣阿仁地域の保健医療福祉の推進にあたり、心から感謝申し上げます。

昨年も会長を務めた時、新型コロナウイルスというウイルスが全国的に流行するのではないかというお話しをさせていただいた。あれから一年、お集まりの医療・福祉関係者の皆様や我々行政も毎日が緊張の連続であることと思う。

世界的に感染者が増え続け、国内でも39万人を超え、秋田県内でも最近徐々に増えてきている。今後のワクチン接種の実施については、医師会の皆様にもご協力をいただきながら、北秋田市も準備を進めているが、昨今の報道を見ると心配事が増えていると感じる。しかしながら、何とか皆様のお力添えをいただき、収束に向けて必死に取り組んでいきたいと考えている。

今日はこの地域の保健医療福祉の推進のために、実りのある会議となるようお願い申し上げ、あいさつとする。

7 報告事項

津谷会長の司会により議事を進行した。

（1）地域医療推進部会、救急・災害医療検討部会及び献血推進部会報告について

資料1（別添）により事務局が説明した。

＜地域医療推進部会及び救急・災害医療検討部会＞

- ・今冬における新型コロナウイルス感染症についての医療体制について、地域の現状と課題について情報交換し、今後の体制について協議した。
- ・今後も各機関協力の下、対応していくことを確認した。

・ワクチン接種について情報交換を行った。

＜献血推進部会＞

・今年度の献血実績について、コロナ禍の厳しい状況ではあったが、街頭献血の他、管内54カ所事業所の協力により、令和2年度1月までの目標値を達成することができた。

津谷会長より報告に対する質疑を求めるも委員からの意見等はなし。

7 協議事項

津谷会長の司会により議事を進行した。

(1) 令和2年度北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部重点事項実施状況について

資料2（別添）により事務局が説明した。

津谷会長より説明に関する質疑を求めるも委員からの意見等はなし。

8 その他

■遠藤委員より、新型コロナウイルスワクチンの接種について現時点で得ている情報について、提供があり共有した。

委員提供資料（別添）により、米国ファイザー社製ワクチンの管理の大変さやワクチン接種後の副反応の対応についての課題、管内において短期間に膨大な数の接種を行うためのスケジュールを立てることの困難さ等についての発言があった。

（意見等なし）

（以上）